

甲南医療センター

救命救急科

指導担当医（役職）

宮崎 勇輔（副部長）

実習概要

実習コース

2週間コース

概要

救急科では北米型ER運営を行っています。内因性疾患/外傷のwalkin&救急搬送患者さんの初期対応/ERでの治療を行います。救急医と初期研修医の先生とで問診診察、POCT(point of care testing)アセスメントを行い、診断治療につなげます。学生の先生方には最初は研修医の先生や救急医と共に動き、最終的には救急外来におけるアセスメントに参加してもらいます。

場合により初期対応など経験していただきます。

実習内容に関しては、皆様の希望に応じて柔軟に対応いたします。

実習スケジュール

基本的にERでの初期診療に救急チームの一員として参加いただきます。

1. 時間 8:30(当直帯から引き継ぎ)～日中の救急患者対応～17:15(当直帯へ引き継ぎ)
2. 時間内に初期研修医の先生と共に適宜フィードバックを行います
3. 診療合間に時間があればハンズオンなどレクチャー(心肺蘇生,挿管実習,エコー実習,初期対応の方法,感染症など症候/診断学など)
4. 希望者は金曜に救急レクチャー(17:30～)
5. 希望に応じて、集中治療室での診療参加

学生へのメッセージ

甲南医療センターは神戸市の中では2次病院としては救急車搬送数をもっとも多い地域中核病院です。3次医療機関を含めても搬送数最多となる月もあります。

当院の救急外来は北米型ERスタイルをとっており、子供～高齢者まで×内因性疾患～外傷まで×軽症～重症(時に3次レベルの疾患)まで診療を行います。例えば風邪やちょっとした怪我、骨折、各種感染(尿路,肺,皮膚etc)、敗血症、心肺停止等々上げるときりがありません。つまり一つの臓器に絞ってでは無く臓器横断的に幅広く経験することができます。

またERやICUは中央部門と言われ各専門科の医師と交わる部署です。当院には指導熱心な各専門科の医師が多く、学ぶところが多いと思います。

立ち上がり間もない部門ではありますが、学生の先生方もチームに一員としてやりがいのある実践的な実習になるように今後も進化していきたいと思っています。一緒に診療できることを救急科/集中治療科一同楽しみにしております。